

上宮寺通信

第八十六号

ハロウィン

ここ最近、「10月はハロウィン」というのがすっかり定着しています。

街にはハロウィンを意識した装飾がなされ、イベントも各地で行われ若者を中心に盛り上がっています。

ハロウィンとは元々、アイルランド周辺に住んでいた古代ケルト人のお祭りに由来します。それがアメリカに伝わり、日本でも知られるようになりました。

そのハロウィンで特徴的なものが仮装。本来は子どもがお化けの仮装をしてお菓子をもらったりするのですが、日本では子どもに限らず、お化けやアニメ

のキャラクターなどに仮装するイベントとなり、独自の文化として外国にも注目されています。

でも、ハロウィンに限らず私たちは日常でも広い意味での仮装をしています。

仕事や学校に行く時はスーツや作業着、制服を着て、どこかに出かける時はおしゃれな服を着て、家でくつろぐ普段の自分とは違った姿で出かけます。

ナポレオンの言葉に「人はその制服どおりの人間になる」というのがあります。服が変わることによって意識が変わる。スーツを着れば仕事を、制服を着れば勉強を、おしゃれな服を着ればふるまいが変わるといいうに意識や行動が変わるので

す。

日本の仏教でも僧侶が着る装束については各宗派でいろいろと決まりがあります。

本来、仏教の教えからいえば、どんな服や着物を着ようと信仰心さえあればかまわないということになるのでしょう。しかし、人間の気持ちとは弱いものです。きちんとした身なりで襟を正さなければ、それ相応のふるまいができないということがあ

るのも事実です。

パジャマ姿のままでは仕事のやる気が起らないと同じように、装束を着用することによって僧侶（仏教徒）として身が引き締まるということもあるので

やはり着るものと気持ちとい

うのは密接につながっています。

お化けやキャラクターの仮装をしたハロウィンのイベントを見るのはとても楽しいものがあります。

でも、毎年、一部の人たちが暴れたというニュースが流れます。ナポレオンの「制服どおりの人間になる」という言葉のように、気持ちまでお化けになっ



◆行事案内

報恩講

11月8日(土) 午前10時

法要 引き続き 法話

法話 伊奈祐諦 師

(西尾市安楽寺前住職)

※午前のみ法要です。持ち帰り用の軽食をご用意いたします。

本山報恩講団体参拝(日帰り)

11月27日(木)

東本願寺報恩講(連夜)参拝、

平等院 見学 他

参加費 一七、〇〇〇円

定員 35名(定員になり次第締切)



◆話題あれこれ

○9月8日の秋の彼岸会・永代経法要には、猛暑の中を多くの方にお参りをいただきありがとうございました。

○11月8日(土)には浄土真宗で一番大切な法要である報恩講をおつとめいたします。ぜひお参りください。法話は西尾市の伊奈先生にお越しいただきます。

○今年も11月16日(日)に東別院の定例法話のご縁をいただきました。午前は11時10分から、午後が1時から(各30分)となります。会場は東別院対面所となります。

○11月21日～28日まで京都の東本願寺で報恩講が勤まります。今年は雅楽の当番が名古屋となり、住職も参勤させていただきます。雅楽が入る法要は21日午後、22日午前、24日午後、25日午前、27日午後、28日午前です。

○寒暖差が激しく、また夏の疲れから体調を崩しやすい時期です。どうぞお身体を大切にお過ごしください。

○ホームページ、公式LINEもよろしく願います。



ホームページ



公式 LINE

【雑感】

今年こそ！の期待を持たせた中日ドラゴンズですが、9月に入り失速。今年もまたクライマックスシリーズに出場することはないませんでした。期待した選手がケガしたり、本調子でなかったりと苦しいシーズンでしたが、観客動員は二五〇万人を超えたそうです。強くても観客数が増えない時期があったのに不思議なものです。弱くてもお客さんが入るからといって、球団はこれを良しとしないではないですね。ファンとしては来年こそクライマックスシリーズに出場するところをみたいです。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547